



小 学校だより

令和 4 年 4 月 28 日

5 月号

横浜市立瀬谷さくら小学校

校長 池田 千晶

学校教育目標「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

1年の間に、子どもからこんなつぶやきが聞こえるような学校生活をつくりたいです。

◎自分大すき……「やってみようかな、できた、わかった、できるようになりたいな、できることがふえた」

◎友だち大すき…「〇〇さんすごい、みんなでやろう、いっしょにやろう、教えてあげるよ、教えて」

◎このまち大すき…「〇〇さんおはようございます、このまちの〇〇がいいんだよ、まちの人を招待したい」

スタートカリキュラム…6年間のベースづくり

校長 池田 千晶

新学期が始まって、早1カ月が過ぎようとしています。それぞれのクラスや学年で目標を立てたり、年間の見通しをもったりと学年に合った滑り出しをしています。ここでは、1年生の「スタートカリキュラム」の話を書きます。これは6年間の学校生活のベースとなる部分を、幼稚園や保育園での学びをもとに滑らかな連携を図りながら、1年生をスタートさせるという、カリキュラムです。「なかよしタイム」で思い切り遊ぶ中で友だちとの関わりや担任との関係性をつくっていきます。「わくわくタイム」では、生活科の学習を中心に数やひらがななども学んでいきます。「ぐんぐんタイム」では、各教科等の学習を学んでいきます。このように子どもたちの安全・安心が図れるように「居場所づくり」と「絆づくり」を丁寧に時間をかけて行っていくことで、6年間の安全・安心のベースがつくられます。効果があることは先行で実践した学校の報告からもうかがえます。さらに今年から3年間、関東幼稚園と幼保小連携事業を行うことになり、幼児期から小学校への学びの連携はますます工夫されていくような気がします。先日は、関東幼稚園の先生が1年生に読み聞かせをしてくださいました（HP参照）。子どもたちは食い入るように聞いていました。

世間がどのような状況でも、知恵と勇気（校歌より）で今できることを行い、誰もが笑顔になれる教育活動ができるように職員一同で取り組んでまいります。今後とも変わらぬご理解ご協力をお願いします。

連休中にPCR等検査で、新型コロナウイルス感染症の陽性が分かった場合は、6日(金)、または、9日(月)以降に学校にご連絡ください。